

平成29年度少年消防クラブ交流会（全国大会）の開催

地域防災室

8月2日から8月4日にかけて「平成29年度少年消防クラブ交流会（全国大会）」が徳島県で開催され、全国各地の少年消防クラブ50クラブ（クラブ員266名、指導員88名、合計354名）が参加しました。

少年消防クラブ交流会は、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて他の地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、地元消防団等から被災経験、災害教訓、災害への備えなどについて学ぶことにより、将来の地域防災の担い手育成に資することを目的として、消防庁が平成24年度から実施しているものです。

少年消防クラブとは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、少年少女で結成されている組織で、平成28年5月1日現在、全国に約4,500の少年消防クラブがあり、約41万人のクラブ員が活動しています。

交流会の1日目は、各クラブの自己紹介や郷土芸能観賞を行いました。普段あまり知る機会のない他のクラブ活動について、参加者は真剣に耳を傾けていました。その後、地元徳島県の阿波踊り連「娯茶平」の方々に、阿波踊りの実演と踊り方についての御指導をいただき、参加者全員で阿波踊りを体験しました。

2日目は、徳島県消防学校において、ヨーロッパ青少年消防オリンピックの競技種目を参考に、ホースの搬送やロープの結索などを取り入れた競技式の訓練をクラブ対抗で行いました。参加クラブの中には、地元の消防署や消防団の方から指導を受けて練習に励んできたクラブもあり、これまでの練習成果を発揮するよう一生懸命取り組んでいました。



合同訓練の様子

その後、美馬市にある体育施設において、避難所体験として段ボールハウス作りを行いました。他のクラブ員と混合となるグループに分かれ協力し合い、段ボールを使用して区画を作り上げ、床の上にマットを敷いた寝床で就寝しました。

その日の夕食は、美馬市消防本部、美馬市消防団、美馬市婦人防火クラブ連合会の方々に御協力いただき、災害時を想定した非常食（アルファ米、レトルトカレー）を作っていただきました。



避難所体験の様子

最終日の3日目は、阿南市立津乃峰小学校、徳島市津田中学校の皆さんに、防災活動の取組について発表をしていただき、また徳島県下27消防団の方々には消防団活動についてグループトーク形式で指導いただき、消防団についての理解を深めていきました。

今回、参加した少年消防クラブ員の皆さんには、この交流会3日間での体験を活かし、地元に戻ってから少年消防クラブ活動に更に励んでいただき、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとして活躍されることを期待しています。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 地域防災室 佐々木
TEL: 03-5253-7561